

会 議 録

会 議 の 名 称	令和6年度 第4回坂戸市社会教育委員会議
開 催 日 時	令和7年1月30日（木） 開会：午後2時00分 閉会：午後2時53分
開 催 場 所	坂戸市役所 301・302会議室
議長（委員長）	横田 政行
出 席 者	北原 文子、田中 孝次、菅原 繁子、石橋 妙子、 本橋 一夫、市川 なお美、三宅 裕美子、田中 映子、 鹿ノ戸 久美子、加藤 拓、小川 孝、横田 政行 12名出席
欠 席 者	金丸 行男、久保田 美穂、杉田 義昭 3名欠席
事 務 局	太田教育長、三田教育委員会事務局部長 仲島教育委員会事務局次長兼スポーツ推進課長、 菅野社会教育課長、神社会教育課課長補佐 瀧嶋社会教育課主任 6名出席
会 議 次 第	別紙のとおり
配 布 資 料	別紙のとおり

議 事 の 経 過	
発 言 者	議 題 ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項
司会（事務局）	1 開会
委員長	2 あいさつ 第4回坂戸市社会教育委員会議に御出席いただき感謝申し上げます。 卓球連盟の会長をされており、先日、来年度の市民体育館の利用会議があった。その中で、令和8年1月から市民総合運動公

委員	①PR方法 パンフレットに加え、新しくチラシ・ポスターを作成する。 配布先として、これまで配布していた施設に加え、新たに ・地域交流センター及び勤労女性センターの定期利用団体 ・学童保育 ・民生委員、老人クラブ、ふれあい・いきいきサロンの代表者 等、各団体に配布する。配布の際には担当が出向き、説明をする。 チラシ・ポスターについては ・市役所1階情報コーナーほか市内公共施設 ・市内スーパー、ドラッグストア等の店舗 への掲示を検討している。 さらに、坂戸市の公式ソーシャルメディア(X、LINE、フェイスブック、)及びYahoo!くらしなどSNSも活用する。 ②申込方法 窓口、メール、FAXといった従来の申込方法に加え、電子申請でも申込を可能とする。 ③講座内容の見直し 埼玉県及び他市町の出前講座を参考に、体験型の講座や、こどもを対象にした講座等、人気の講座を取り入れられるよう、各課に依頼を行う。 以上の内容により、多くの市民の方に活用いただけるよう令和7年度坂戸市職員出前講座を進めていきたいと考えているので、委員の皆様から御意見をいただきたい。 地域交流センターで、日本語教室のボランティアをしている。日本語教室の皆さんに職員出前講座のパンフレットを渡したところ、イベントとして活用できそうな内容の講座をとということで、環境学館いずみの「バックdeせっけん」を受講した。外国の方も初めて作ることとなった。ミャンマーから避難してきている方からも、「ミャンマーに持ち帰って使うことができる」といった声が挙がるなど、有意義なイベントになった。 職員出前講座とは違うが、ニュースポーツの講習会を実施
----	--

	しており、モルックの貸出しについて紹介したところ、そういったイベントも実施してみようということになった。
委員長	第2回社会教育委員会議の協議内容をふまえ、改善点が挙げられているが、意見はあるか。
委員	第2回社会教育委員会議の協議の中で、「PR方法や出前講座の利用者を獲得するための方法が大切だ」という声が挙げたが、資料を見て、「これ以上のPR方法はないのではないか」と思うほどの内容となっているように思う。 一度利用すれば固定客になっていくので、PRの最初の一步が大切だと思う。資料のとおり、PRを網の目のように張り巡らせたら、一步前進できるのではないかと感じている。 また、職員出前講座を利用した団体が口コミで広めることも大切であると思うので、利用した団体の役割として、多くの人に広めていきたい。
委員	最近はSNSで情報を得ることが多いが、講座に参加した感想や、「どういった内容の講座なのか」といったことがSNSを通じてPRできれば、参考になるのではないかと思う。
委員長	「体験した内容をSNSに挙げてみたらどうか」ということか。
委員	受講してみたいと思う講座について、文字だけではよくわからないことを直接問い合わせて聞くだけでなく、SNSから得ることができたら受講しやすくなるのではないかと思う。
委員長	受講者からの感想をまとめてPRに使っていくのはどうか。
事務局 (社会教育課)	実際に受講した方からは感想等を提出していただいているので、そういったものもSNSに載せられるよう、検討していきたい。
委員	利用頻度の年齢層や団体のデータはとっているか。

事務局 (社会教育課)	年齢層については伺っていないが、どのような団体が利用しているかについてはデータをとっている。
委員	職員出前講座のチラシやパンフレットにQRコードをつけることにより、若い方が受講しやすくなるのではないかと思う。若い方が入ってくることにより、こども向けの講座や体験型の講座が人気になってくるのではないか。体験しているところの動画を配信することができたらおもしろいのではないか。
事務局 (社会教育課)	実施している状況が伝わるよう、まずは写真等を活用できるか検討していきたい。 また、他市町の出前講座について調べたが、「こどもに おすすめ」「体験型」等、細かくお知らせしている市町があり、大変参考になった。そういったことから、「この講座は学校で活用いただくことができる」「この講座はスポーツ団体の皆様に活用いただくことができる」といったように、対象を分かりやすくお知らせしていくこともPRのひとつになるのではないかと考えている。
委員	日本語以外の表記での案内はしているのか。
事務局 (社会教育課)	英語対応の講師がいなかったため、外国の方からの要望がきた際にどこまで対応できるかわからない。翻訳や通訳していただける方がいらっしゃれば、対応可能であると思う。しかし、講師が外国語を使って話をしたり、使用する教材をすべて外国語で用意をしたりすることは、現実的に難しいと考える。
委員	「パック de せっけん」の際にも、講師から「日本語での話となり、加えて、専門的な言葉があるが差し支えないか」との相談があった。日本語教室とはいえ、全員が様々な語学をすべてできるということではない。スマートフォンの翻訳機能を使用し、対応している状況である。体験型の内容であれば、簡単な日本語を使って説明することで対応できる。外国籍の方に対してすべてのフォローをしていくことは大変だと思うが、例えば、講座紹介の欄に英語の表記等があれば分かりやすいと感じる方も大勢いるのではないかと思う。

委員長	チラシを外国語で表記をするという方法と、講座を外国語で実施するという方法の２点が考えられる。講座を外国語で実施することはハードルが高いが、チラシを外国語で表記するという方法については、ぜひ検討いただきたい。
事務局 (社会教育課)	5 報告事項 (1) 第２回坂戸のまつりの開催結果について (資料２に沿って説明) 令和６年１１月１０日（日）午前１１時から午後７時まで、文化会館からサンロード及び坂戸駅北口ロータリーで開催した。今回、２万３，０００人の来場があり、多くの方に市内の無形民俗文化財を見ていただくことができた。２７団体９５７人の方に御参加いただき、山車の参加は９台であった。 また、伝統文化の次世代への継承を目的とし、こどもたちが参加することのできる体験等のプログラムを以下のとおり作成した。 ①まつり体験 ア おはやし体験・さかろん山車 イ みこし体験① ウ みこし体験② エ たいこ体験 オ クイズ（午前１１時～午後４時） ちいさなこどもから大人まで、親子で楽しんでいる様子を見ることができた。 ②スタンプラリー 青少年育成坂戸市民会議での企画により、市内中学校の美術部の皆さんの御協力により作製された、全６７個のスタンプを使用し、スタンプラリーを実施した。こどもから大人まで多くの方に御参加いただくことができた。併せて、人権教育推進協議会のＰＲも行った。 ③こどもＭＣ 市内の小学校６年生に、文化会館会場でのオープニング、お囃子の紹介、夜の合同曳っかわせの３か所で、司会進行をしていただいた。 今後も、こどもたちが参加できるようなイベントを企画していきたい。

事務局 (社会教育課)	(2) 令和7年度さかど市民塾の実施について (資料3に沿って説明) さかど市民塾とは、市民が講師になることにより「教えることは2度学ぶこと」を実践し、講師が「教える生きがい」を持ちながら、併せて市民の学習機会を創造することを目的として、講師を広く公募し、講座を開講するものである。 令和7年4月から令和8年2月までが開講期間となる。 令和7年4月からの開講に向け、令和6年10月1日から令和6年11月15日まで講師の募集を行い、34名の方から申込があった。講座数は、全50講座であった。 今月1日から2月21日までが受講生の募集期間となっており、受講生募集について広報1月号への掲載、パンフレットの作成及び配布のほか、坂戸市の公式ソーシャルメディア(LINE、X、フェイスブック)にも掲載した。 委員の皆様からも、御友人等に周知をしていただくよう、よろしくお願いしたい。
事務局 (スポーツ推進課)	(3) 第24回坂戸市民スポーツフェスティバルの開催について (資料4に沿って説明) 令和7年4月29日(火・祝)に、市民総合運動公園をメイン会場として実施することが決定した。例年、市民総合運動公園及び、勝呂地域交流センターで開催しているが、勝呂地域交流センターの工事の期間と重なるため、今回は市民総合運動公園での開催となる。 内容としては、オープニングセレモニーとして、総合開会式、坂戸市スポーツ表彰、中学校の吹奏楽部による演奏を行う。中学校吹奏楽部による演奏については、今後、校長会の会長に依頼し、御協力いただける中学校を推薦していただくと考えている。 体育協会、レクスポ協会加盟団体等によるアトラクション、体験コーナー、ふれあいコーナーとして、各団体からの多種多様な出し物を行う。社会教育委員の皆様にもぜひ体験いただけたらと思う。 支部対抗綱引き大会については、各地区の市民体育祭での優勝チームが各支部を代表して集まり実施されるため、毎年、白熱した試合が繰り広げられる。

	その他、例年通りの内容となるが、今後も各関係機関と打合せを重ね、目新しく、皆様に楽しんでいただけるものがあれば、取り入れていけたらと考えている。
委員長	以上の説明について、質疑等はあるか
委員	坂戸のまつりが久しぶりに開催され、盛り上がって良かった。社会教育委員の一員として、開会式等に参加した。その際、市内の学校長の姿を見かけたが、各学校において、職員や児童にどのようなPRをしたのか、あるいは、校長会で話が挙がったのか。
委員	各学校において、職員には坂戸のまつりについて話をした。しかし、日曜日の開催ということもあり、見に行くことが難しい職員もいたようである。
委員	坂戸のまつりの次回の開催はいつか。
事務局 (社会教育課)	次回の開催については、まだ決まっていないが、坂戸のまつり実行委員会で「数年に一度の開催」という結論に至った。 まつり開催の周知については、校長会で説明させていただいた。また、保護者の皆様に向けて「すぐーる」というツールを活用した。 しかし、こどもMCなどまつり直前まで調整していたことで各学校への周知が間に合わなかったものもあるので、今回の反省点を次回に活かしていきたいと考えている。
委員	スタンプラリーのスタンプを中学校美術部が作製したことにより、生徒同士ではまつりの情報が広まっていたようである。担任や美術部の顧問も坂戸のまつりの当日、参加したとの報告があった。
事務局 (社会教育課)	スタンプの作製についても、夏休みの最後に急遽、お願いすることとなったが、どの中学校も好意的に御協力いただいた。感謝申し上げます。
委員長	他に、坂戸のまつりの参加した委員の方から感想を伺い

	たい。
委員	家族がこどもMCやみこし体験に応募し、実際に参加させてもらった。こどもが参加することにより、親をはじめ、家族の参加にもつながるため、良い企画であると感じた。
委員	お囃子や神楽の違い等、詳しく知らずに参加したが、こどもMCによるかわいらしい説明があったので良かった。こどもたちにとって文化財を学ぶことにつながり、勉強になったのではと感じた。
委員	お囃子など無形民俗文化財が市内の各地域にあるということを知ってもらうためにも、数年に1回で良いので、一斉に披露することは良いことである。
委員	坂戸駅前について夕方の交通規制をかけていたようだが、市民からの苦情はなかったか。
事務局 (社会教育課)	社会教育課や市役所への苦情はなかった。初めて坂戸駅のロータリーを交通規制としたため、交通規制となる範囲のすべてのマンションや店舗に足を運び、お願いをして回った。また、坂戸のまつり終了後にはお礼に回り、併せて「ご不便をかけなかったか」といった確認を行ったが、皆様の御理解により、苦情は挙がらなかった。
委員長	続いて、その他として委員の方から報告事項があればお願いしたい。
委員	意見なし
委員長	続いて、事務局よりお願いしたい。
事務局 (社会教育課)	6 その他 (1) 第30回入間地区生涯学習フォーラムについて 第30回入間地区生涯学習フォーラムの通知を皆様に送付したところ、6名の社会教育委員の方に参加をいただく

	こととなった。 日時 2月4日(火) 13時～ 会場 富士見市民文化会館キラリ☆ふじみ となる。よろしくお願いしたい。 坂戸市文化団体連合会講演会について、委員より御紹介をお願いしたい。
委員	(2) 坂戸市文化団体連合会講演会について 2月2日(日) 午前10時から正午まで、坂戸市文化会館を会場とし、坂戸市職員出前講座を活用した企画講演会を実施する。 平成27年度に開始し、途中、コロナで実施できない期間もあったが、今回で6回目の実施となる。今回は「うつりゆく千代田―坂戸飛行場物語―」というテーマとなる。 当初は、坂戸市文化団体連合会の会員の研修会として企画をしたが、より多くの方に聞いていただきたいという思いから、一般の方にも対象を広げて申込みを募っているところである。 協議事項の中でも挙げたが、職員出前講座を一度経験した団体として、多くの方に知らせていくことが使命だと思っている。今回は、「どのような方々が、どのような方法で講演会を知り、参加したのか」についてアンケートをとり、結果を事務局に報告させていただこうと考えている。 ぜひ、委員の皆様からの御参加をお願いしたい。
委員長	全ての議事が終了したので、議長の任を解かせていただき、進行を事務局に戻す。
副委員長	7 閉会 寒い中、長時間にわたり慎重審議をいただいたことに、感謝申し上げます。これから卒業式や入学式等があったり、年度が変わったりと慌ただしい日が続くと思うが、お身体を御自愛され、委員の皆様が御活躍されることを祈念する。 では、第4回社会教育委員会議を終了する。